



# Mari's Corner マ〜リ〜の物がたり



マリコ・クック  
Mariko Cook

2012年8月から国際交流員として、  
浦添市役所国際交流課に配属される。  
米国インディアナ州出身  
原文・和訳:マリコ・クック

ありがとう、浦添

Thank You, Urasoe

読者の皆さん、3年間続けてきた「マ〜リ〜の物がたり」は今回で最後になります。7月29日で国際交流員としての任期である3年を迎えるからです。今振り返るとあ〜という間の3年だったと実感しています。2012年8月に国際交流員として動き始めた頃は、大学を卒業したばかりで仕事をした経験がなく、市内の子どもたちの交流や翻訳・通訳業務、広報誌のコラム作成など全てが初めての体験でした。楽しいことも辛いことも色々ありましたが、浦添市で働けたことに心から感謝しています。

国際交流員として働いてきて、一番やりがいのあった仕事はグローバル・カルチャー・フェスタを2年連続で実施したことです。今までの国際交流員はグローバル・カルチャー・フェスタのような大規模な草の根レベルのイベントを企画したことがなかったため、かなりのプレッシャーを感じました。しかし、上司や同僚からのサポートがいつもあったので初めて実施するイベントも無事に終わることができました。そして、グローバル・カルチャー・フェスタに参加していただいた市民の皆さんがイベントを楽しんでいる様子、そして世界の国々について学んでいる様子が見れたことも、とても嬉しく思います。浦添・沖縄の方々や直接外国人と関わるチャンスが増えると、「国際交流・国際化」もさらに広がっていくと思います。そうすると「平和」も知ることができ、平和にも繋がると思います。

この3年間で浦添市は私の第2の故郷というよりも、実際の故郷のような存在になりました。どこかへ旅行したり、アメリカへ帰りても、やっぱり「沖縄がいい!」と思うようになったのです。浦添市で経験したこと、そして学んだことは一生大切にします。

浦添市の皆さん、3年間お世話になりました。本当にありがとうございました!

Dear readers, after writing for "Mari's Corner" for three years, this will be my final post. That's because I will be finishing my three year term as a Coordinator for International Relations on July 29th. Looking back at it, the past three years went by so quickly! When I first started working as a CIR in August 2012 I had just graduated from university, so interacting with children, translating, interpreting, and writing columns for the PR publication were all new experiences for me. There were ups and downs, but getting the chance to work in Urasoe is something I am extremely grateful for.

The most rewarding thing I've done as a CIR was organize and put on Global Culture Festival two years in a row. No other CIR up until now has ever put on a large-scale grass roots level event equivalent to Global Culture Festival, so you can imagine the pressure I felt. However, I received all kinds of support from my higher-ups and colleagues which helped make the event a success. It also made me happy to see participants enjoying themselves at the event and learning more about other countries. As long as Urasoe residents and the whole of Okinawa are given more opportunities to interact with foreign residents, I believe that it will broaden the scope of internationalization. It could possibly help people understand the concept of peace and bring more peace to the world, too.

In the three years that I've lived in Urasoe, rather than it becoming my second hometown, it's more like my actual hometown. Anytime I leave Okinawa I think to myself, "Okinawa's so much better!" I'll always cherish what I've experienced and learned from my time living here.

Thanks for everything these past three years, Urasoe. It's been wonderful!

## マ〜リ〜 3年間ありがとう

平成24年8月から国際交流員として、国際交流活動・通訳・翻訳などの活動を行ってきたマ〜リ〜さんの任期が終了となりました。お疲れ様でした。



グローバルカルチャーフェスタで世界の文化に触れました



アメリカからクックファミリーが来ました



RBCラジオでアメリカのハロウィンについてインタビューを受けました



児童センターの子ども達と一緒にダンス



幼稚園にてジャンケン大会



JICAフェスティバルで英語の絵本を読みました

※今月号の「でだっ子STUDIO」はお休みいたします。

# ハイサイ! こちら市長室!

「誰かのために」

私がボランティア活動というものを始めたのは、大学卒業後、東京でサラリーマンとして働いていた頃でした。仕事が多忙で、住んでいるアパートと会社の往復だけに明け暮れる生活をなんとかしようと考えて、仕事と無関係な活動を始めることにしました。そして、毎月1日だけ、全く知らない誰かのために活動する「ボランティアの日」を自分で勝手に設定し、介護施設や福祉作業所に通い始めたのがきっかけでした。そして、それが原点となりその後の人生を大きく変えていくことになったのです。

今は、朝の読み聞かせ活動が好きでちよくちよく市内の小学校に顔を出しています。授業が始まるまでの少しの時間を利用して子ども達に絵本を読みます。子ども達に読み聞かせを始めてから、子ども達に読み聞かせをする機会が増え、子ども達に読み聞かせをするのが楽しくなりました。子ども達に読み聞かせをするのが楽しくなりました。子ども達に読み聞かせをするのが楽しくなりました。



▲子ども達に読み聞かせしている様子

問い合わせ 秘書課  
☎876-11234  
(内線2563)

PTA活動そのものがそうだし、夏休み期間中の朝のラジオ体操でも多くのボランティアが活躍しています。うらそえぐすく児童センターでは、子ども達と一緒に作って食べる「いーだ」も食堂という活動も始まっています。何はともあれ、今月はボランティア月間です。あなたに合ったボランティア活動を通して、新しい出会いと喜びを探してみませんか?



浦添市長 松本哲治

## 文化課発信 うらとえー ありんくりん 第5回

### ～浦添ようどれのシーサー～

先日、小学生の女の子から「浦添グスクにシーサーはありますか?」という質問がありました。シーサーといえば建物の門や屋根の上で見ることが出来ます。浦添グスクにもシーサーはあるのでしょうか。

答えは、浦添ようどれで見ることが出来ます。浦添ようどれには浦添グスク内にある王さまのお墓で、向かって右側の西室に英祖王、左側の東室に尚寧王とその一族が眠っています。その東室を守る形で一對の石獅子(いわゆるシーサー)が置かれていました。向かって右側の石獅子は沖縄戦で失われてしまい、現在、残っている左側の石獅子は、口にくわえたひもを左足で力強く踏みつけ、右の足元に鞆、首には鈴をつけています。

その他に、墓室内に納められている石厨子でも、獅子を発見することができます。石厨子とは洗骨した遺骨を納める入れ物のことで、西室の1号石厨子では台座中央に獅子が彫られています。また、瓦葺の建物を模した各石厨子の屋根の上にも獅子の姿を見ることが出来ます。

さて、ここで問題です! 西室内に獅子は何体いるのでしょうか? 「浦添グスク・ようどれ探検」が8月16日(日)に行われるので、実際に現場へ行って答えを探してみませんか。西室の内部をそのまま再現した「浦添グスク・ようどれ館」がコースに含まれています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



▲石獅子 ▲西室1号石厨子



問い合わせ 文化課 内線6214・6217